

はじめに

口腔衛生指導で歯磨剤の提案を行う場面は少なくありません。「この特徴・スペックが、なぜ、現在のあなたに有利なのか?」。数多ある歯磨剤のなかから、口腔内の状態に合わせて適切な製品を選び、効果的な用法・用量を解説する。このような根拠や裏づけのある歯磨剤の提案は、患者さんが納得してセルフケアに取り組むキッカケとなります。私が口腔衛生指導で目指すのは、この好循環を生み出すことです。ただ単に製品をオススメするわけではありません。

本書は、月刊「DHstyle」で連載した内容をアップデートしてまとめたものになります。私が実際に臨床の現場で利用してきた製品に絞り、そのスペックや特徴、有効なターゲット、効果的な用法・用量を解説しています。また、臨床的な視点からの忖度ない分析や、実践のためのアイデアにも触れています。そして、できるかぎり症例を供覧し、動機づけを始めとする患者さんへの歯磨剤の勧め方などを盛り込みました。

『知識は臨床に貢献してこそ成り立つ』。情報提供を行う時間であり、患者さんとともに学習する機会となる口腔衛生指導が、有益なものとなりますように。その一助として、本書をお役立ていただけるとうれしいです。

片山 章子